

2022年2月3日

CVIT 会員 各位

心血管カテーテル治療専門医新規申請における EVT/SHD 研修カリキュラムの履修につきまして

日本心血管インターベンション治療学会
専門医認定医制度審議会 委員長 上妻 謙

平素より学会活動にご高配賜り、厚く御礼申し上げます。

表題の研修カリキュラム履修につきまして、一部分かりづらい箇所がございましたので、改めてお知らせいたします。

以下の審議会本則のうち、第12条①「本学会研修カリキュラムを達成した医師であること。」につきまして、新たに追加となった EVT/SHD の研修カリキュラムの達成は、ご申請されるカテーテル治療経験数 300 例のうち、冠動脈形成術以外に、EVT と SHD の症例を 50 例まで含める申請者のみ、該当する領域の新研修カリキュラムの履修、達成が必須条件となります。SHD 領域は治療法が多岐に渡りますが、申請に含める症例の該当分野の履修、達成が必要となります。

また、EVT と SHD の基礎知識は心血管カテーテル治療専門医として必要ですので、筆記試験では取り扱います。試験問題は、専門医試験手引書「[インターベンション必携 第2版](#)」を元に作成された問題および過去問題から、委員会の判断により総合的に出題されます。

(例) 申請時に履修・達成が必要な新研修カリキュラム

- ・ PCI のみ 300 例で申請の場合：PCI 新研修カリキュラムのみ
- ・ PCI と EVT で合計 300 例として申請の場合：PCI 新研修カリキュラム+EVT 新研修カリキュラム
- ・ PCI と SHD で合計 300 例として申請の場合：PCI 新研修カリキュラム+SHD 新研修カリキュラムの該当分野
- ・ PCI と EVT、SHD で合計 300 例として申請の場合：PCI 新研修カリキュラム+EVT 新研修カリキュラム+SHD 新研修カリキュラムの該当分野

[新 PCI 研修カリキュラム](#) / [達成度評価表](#)

[新 EVT 研修カリキュラム](#) / [達成度評価表](#)

[新 SHD 研修カリキュラム](#) / [達成度評価表](#)

【CVIT 専門医認定医制度審議会本則第4章（抜粋）】

(心血管カテーテル治療専門医の受験資格)

第12条 心血管カテーテル治療専門医の受験資格は以下の通りとする。

①研修歴として、認定医取得後、原則として申請前年12月末日までに、審議会が認める以

下の施設に在籍し、通算3年以上の研修期間を満了し、本学会研修カリキュラムを達成した医師であること。

- ・本学会研修施設および研修関連施設
- ・研修施設群の連携施設（研修施設群の運用のための細則参照）
- ・本学会研修施設および研修関連施設、研修施設群連携施設でない施設での在籍期間は、2020年12月末日までは、2/5と算定し研修歴として認める。2021年以降は、研修歴として認めない。

②治療経験として、申請前年12月末日までに、主術者としての冠動脈形成術300例の治療経験があること。治療経験は、本学会レジストリー登録制度が開始された2010年11月以降の治療経験であり、認定医取得後の200例または通算300例でJ-PCI、J-EVT/SHDもしくは外科領域レジストリーに登録された症例のみとする。その300例とは、冠動脈形成術250例を必須とし、この他本則第2条（心血管カテーテル治療の定義）に定められているカテーテル治療経験を50例まで含めてよい。※1

以上、既に、お問い合わせいただいた会員の皆様に、事務局より、不明瞭な回答をした方も僅かですがいらっしゃいます。専門医新規申請のご準備をされていた会員の皆様におかれましては、分かりづらく混乱させてしまったことと存じます。深くお詫び申し上げます。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

（本件に関するお問い合わせは）

一般社団法人 日本心血管インターベンション治療学会

事務局 専門医認定医制度審議会担当：

川内真美 / Mami Kawauchi

長谷部真代 / Mayo Hasebe

小嶋智美 / Tomomi Kojima

佐藤淳子 / Junko Sato

〒104-0033 東京都中央区新川 2-20-8 八丁堀スクエア 2F

TEL：03-6280-4126

FAX：03-6280-4127

URL：<http://www.cvit.jp/>

※現在、テレワーク運用中ですので、
ご連絡はメールにてお願いいたします。